時事新報

公報　東京圖書館

驛遞局認可

明治十八年三月十九日
（西暦一千八百八十五年）
木曜日
第九百二十號
日曜日休刊

●内務省達丁第一號

歌舞宗制認可ヲ與ヘタル後ハ從前認可シタル歌舞宗制ノ部類ハ總テ認可ノ効ヲ失ヒ候儀ニ付重要ノ事項ニシテ認可ヲ乞フヘキモノハ更ニ歌舞宗制中ニ編入可差出儀ト可心得此旨相達候事

明治十八年三月十八日　内務卿伯爵山縣有朋

○農商務省告示第三號

羊毛買上手續左ノ通相定候條此旨告示候事

明治十八年三月十八日　農商務卿伯爵松方正義

羊毛買上手續

第一條　一本邦各地方ニ於テ畜養セシ綿羊ヨリ剪收シタル羊毛買上ヲ出願スル者ハ其頭數ト收量トヲ記載シ管轄廳ヲ經テ農務局ヘ申出ツヘシ」但運賃ハ本人自辨タルヘシ○第二條　一農務局ニ於テハ其斤數及品位ヲ檢査シ相當ノ價額ヲ定メ代金ハ管轄廳ヲ經テ下渡スヘシ○第三條　一羊毛ハ其品質ニ依リ價格ヲ左ノ三等ニ定ムヘシ」一等一斤（量目百二十目）金三十五錢以上」二等同金三十錢以上」三等同金二十錢以上」○第四條　一羊毛荷作リハ綿布麻布ノ類或ハ琉球表ヲ用フヘシ○第五條　一小數ノ綿羊ヲ畜養スルモノハ聯合總代人ヲ立テ買上ヲ出願スルモ妨ケナシ○第六條　一羊毛檢査ノ上不適用ト認ムルモノハ其理由ヲ指示シ返還等ノ處分ヲナスヘシ」但本條ノ場合ニ係ル運賃ハ本人ノ自辨タルヘシ

叙任

○明治十八年三月十七日

叙從二位　従三位勳三等　嚴井　越雲
任海軍少軍醫　鈴木　重治
叙從五位　男爵　河邊　博長
　　小橋　時敏

時事報報

朝鮮國

井上角五郎氏ハ去年十二月朝鮮京城變乱ノ際我時事新報社ノ嘱托ヲ受ケ特派通信員トシテ朝鮮ニ向ヒ井上特派全權大使ニ風從シテ京城ニ入リタルガ日韓ノ新條約成ルノ後ニ及ヒ朝鮮政府ノ聘スル所ト爲リテ統理外衙門ニ出仕シ今日マヲ同政府ノ外交事務ニ參與シ居タリ○ガ陸軍ハ去ル十六日ノ夕刻ニ長崎マヲ歸着シ直チニ左ノ電報ヲ本社ニ寄セタリ

「三月十六日午後八時十分長崎發電報

唯今小倉丸ニテ兵地ニ着ス、伊藤大使ガ支那ニ往キ○報知ヲ得テ京城内上下共ニ動搖ス、本月十日關泳翊ノ下人過ナテ支那兵ヲ銃撃ス十一日ニ閔泳翊ハ田舍ニ往キ支那兵ニレヲ警衛シタリ朝鮮人民ハ大院君ノ故事ヲ思ヒ更ニ動搖ス、十三日支那軍艦海安號支那ニ歸ル朝鮮使節ニレニ乗組ミテ支那ニ往キタリ、（十四日小倉丸出港ヲ報ス小生ハ仁川港出（井上君ノ御見込）立寄リテ我地ニ往ク後報ノ手紙

此電報ハ昨日ノ時事新報ニ記載シテ讀者諸君ノ既ニ熟知セラル、所ナリ此電文ノミニテハ固ヨリ詳細ノ事情ノ分カルヘキ道理ナシ唯先前ヨリ今日マヲ我輩ガ承知シ居タル所ノ朝鮮事情ニ照シテ此電報ヲ讀ムニ其意大体先ツ左ノ如クナランカ

伊藤全權大使ガ支那ニ赴キタリトノ報知京城ニ達シテヨリ上下共ニ動搖シタリトノ事ハ其意味少シク解シ難シ朝鮮事變談判ノ爲メ日本ノ大使朝鮮ニ來ルナトノ報知ヲ得テ京城ノ人心滴々タリト云ヘハ其理由ハ先ヅ分明ナレ𪜈朝鮮事變ニ關シ朝鮮ト日本トノ間ニハ其談判疾ク既ニ落着シ唯其未タ落着セザルモノハ日本ト支那トノ間ニアル談判ノミナリシニ今度其談判ヲ片付クル爲メ日本ノ大使ガ北京ニ赴キタリトノ報知アリシトテ何モ京城ノ人心ヲ動カスヘキ謂ハレナシ殊ニ朝鮮人民ハ朝鮮國外ノ事ニ通ゼズ支那ニ戰爭ガ始マルトモ日本ニ内乱ガ起ルトモ此等ノ事ハ更ニ其耳目ヲ聳カシ其精神ヲ激スルニ足ラザルヤ甚タ明白ナリ然ルニ伊藤大使支那ニ往クト聞キ京城ノ人心動搖シテ止マズトハ實ニ天地間ノ一不思議ナリト云ハザルヲ得ズ依テ我輩ハ此人心ノ動搖ヲ解釋シテ在京城支那人心ノ動搖ナリトスル方寸ニ事實ニ近カランカト思ハルヽナリ日本ノ全權大使ガ陸軍中將以下大勢ノ海陸武官同道北京ニ向ヒタリト聞キ素破事コソ起レリトテ京城屯在ノ支那兵并ニ支那商人等ハ最早日支兩國ノ間ニ宣戦ノ布告ニテモアリシカ何ゾノ如ク無法ニ騒ギ立ツルヲ見テ無知ノ朝鮮人等ハ何ノ考モナク何ノ譯ヲモ知ラズ去年十二月六日ノ變乱ガ再ビ湧キ起リシ如キ想像ヲ爲シテ京城内上下全体ニ動搖シタルニヤアラン

然ルニ本月十日ニ至リ兼テ朝鮮事大黨中ニ其人アリト聞ユタル閔泳翊ノ下人ガ何カノ過ナニテ支那兵ヲ銃撃シ其翌十一日ニ閔泳翊ハ支那兵ニ警衛セラレテ京城ヲ立退キ田舍ニ赴キタリト云フハ蓋シ前段京城ノ人心洶々タリト云フ事トハ何モ關係ナキ事柄ナラン閔泳翊ハ兼テ支那ニ心酔ノ人ニテ事大主義ヲ固守シテ segment 檢ハラザル者ナリ然ニ去年十二月六日ノ變乱ニ際シ兇器ヲ義ヲ日本兵及ビ日本人ヲ攻撃シタルハ實モニ閔泳翊ノ黨與シタル忠義兵ト稱スル仲間ニシテコレヲ指揮シタルハ閔氏ノ家宰李斗鍾ト云フ者ナリシト云フ事ハ閔氏ノ下人ニシテ支那兵ニ關スル事情ナルガ故ニ苟クモ閔氏ノ下人ガ過ナキ多勢ノ支那兵ヲ撃ナタルカ又ハ一名ノ下人ガ一名ノ支那兵ヲ撃ナタルカ其邊ハ何トモ判斷シ難シ然ルニ其理由ハ支那兵ニ警衛セラレテ京城ヲ出ツト云フノ事情ヲ察スルニ前日過激ノ銃撃ヨリシテ無知無智ノ支那兵等ハ激怒シテ復讐ヲ企テ閔氏ノ家宰等ヲ捕フヒ上ニ民衆アタヽデ勢ナルヨリ支那兵ソノ指揮官ヲ説フヒコヲ閔氏ヲシテ支那兵ノ目前ヲ退カシメ途中ノ危難ヲ慮リテ警衛ノ兵員ヲ解シ遠ク田舍ニ遁レシメタルニテモアランカ斯ル有樣ニテ京城ノ人心ハ大院君ノ故事ヲ思ヒ支那兵ガ閔泳翊ヲ執フヘ或ハ他ノ大臣ヲ執フヘ又或ハ國王王妃ナドヲ裏シテ支那ニ遁レ行クナドノ變事モ出來スベキヤト前日ノ洶々未タ鎮定セザルニ更ニ又洶々ヲ加ヘタルモノニテモアランカ

十三日ニ支那軍艦海安號支那ニ向ヒテ歸航シ朝鮮ノ使節コレニ乗組ミタリト云フハ前段支那兵銃撃ノ事ニ關係スル者カ將タ又單獨ノ一事項ナルカ其邊未タ分明ナラズ然レトモ我輩ガ前便來聞知スル所ニ依レハ頃日朝鮮ノ現政府ハ日本支那興國ノ間柄ニ付テ頗ル心配スル所アリ日支ノ關係或ハ破裂スルヤモアラバ支那ハ如何樣ニ朝鮮ヲ保護シ與ルヤナドヽ種々ノ問題ニ關シ十分ニ支那政府ノ心底ヲ聞知ランコトヲ望ミ居タリト云ヘリ故ニ今度海安號ニテ朝鮮使節ノ北京ニ赴キタルハ伊藤大使支那行ノ報知ヲ得タル結果ナルカ或ハ支那兵銃撃騒動ノ結果ナルカ但シハ又此等ノ事ノ外ニ要用アリシカ我輩ハコレヲ知ルヲ能ハザルナリ南陽仁川ヨリ天津ニ達スルマヲハ尋常汽船五十時間ノ航程ナリ海安號ハ十三日ニ朝鮮ヲ發シタリト云フカラニハ進ンモ十六日中ニハ必ズ天津ニ着シ朝鮮使節モ既ニ李鴻章ニ面晤スルヲ得タルコトナラン今ヤ伊藤大使李鴻章日支兩國ノ全權大臣ハ皆天津ニ在リ此際海安號ノ齎ラシ來リタル新報ヲ聞キテ爲メニ何樣カ日支兩國ノ談判ニ影響ヲ及ボスコトアルベキヤ如何我輩ハ後報ヲ待チテ委細ニ知ルヲ得ベシ

雜報

○鶴田議官　鶴田參事院議官ハ一昨十七日自今一等官相當年俸四千五百圓下賜ス旨仰渡サレタリ

○位階被進　從三位織井茲監氏ハ一昨十七日特旨ヲ以テ位階ヲ進メラレタル旨仰渡サレタリ

○地質調査　農商務權少書記官原田豊吉氏ハ一昨十七日地質調査トシテ靜岡縣、山梨縣、埼玉縣、神奈川縣ノ諸縣巡廻ヲ仰付ラレタリ

○官廳彙報　一昨十七日海軍少佐飯島員規氏ハ軍事部第二課長柴山海軍中佐ハ不在中同課長兼務仰付ラレ海軍權少軍軍醫少監前田清則氏ハ主船局兼務差免サレ海軍權少匠司長己一氏ハ主船局造船課長佐鍛海軍少匠司ノ不在中同課長代理仰付ラレ雷電艦分隊長永坂海軍中尉ハ本職ヲ免シ筑波艦分隊長ニ補セラレ海軍中主計片岡直種氏ハ調度局兼務仰付ラレタリ○一等軍醫海瀬敏行氏ハ一昨十七日外務省御用掛兼勤ヲ免セラレタリ○農商務省權奏任御用掛横井時庸氏ハ一昨十七日管船局勤務仰付ラレ全省御用掛松原新之助氏ハ去ル十六日水產局勤務仰付ラレタリ○原胤親氏ハ去ル十六日陸軍省ニ於テ准奏任御用掛（月俸八十圓）參謀本部出仕仰付ラレタリ

○日原昌造氏　横濱正金銀行英國倫敦支店詰ヲ仰付ラレタリ

○入心如何。　此度英佛獨三國の間に何か紛議と生したりとの報知ありて世人が偶め憤懣にては生系の取引なきも原昌造氏は去る十五日横濱人清の英郵船テヘラン號に乗て無事歸着したり

由は一昨日並ヘルド新聞に四國間に紛議に行はる尤此事に爲め萬事平日ヨリ和と直ちに出ドウエル氏は目令と稱居ると云

○伊國の海軍　其艦隊と紅海にソ嶋を占領しるが右の如く國付ては同國海軍へば今左ヨカセ騒動して一覽に伊國軍艦中甲鉄艦名　排水噸

艦名	排水噸
イタリヤ	二三、八〇〇
レパント	二三、八〇〇
ダンドロー	一〇、五〇〇
ジュリヤ	一〇、五〇〇
アンドレヤ	一〇、五〇〇
コロンボ	一〇、五〇〇
ドリヤ	一〇、五〇〇
アンジュスコ	一〇、〇〇〇
ボロンジニ	一〇、〇〇〇
ヴェスピヤ	一〇、〇〇〇
ヴェスビヤ	一〇、〇〇〇
ヴェスビヤ	一〇、〇〇〇
ヴェスビヤ	一〇、〇〇〇
ヴェスビヤ	一〇、〇〇〇
ヴェスビヤ	一〇、〇〇〇
ヴェスビヤ	一〇、〇〇〇
ヴェスビヤ	一〇、〇〇〇
ヴェスビヤ	一〇、〇〇〇
ヴェスビヤ	一〇、〇〇〇

右九艘の甲鉄艦ヒルが此外に肯意計すれ砲數五百二十三

○佛國内閣員れ宰相フェリー氏替は總て六回あ

ヒロン氏はヤ

將軍カンプノン

は同年十一月現て外務卿に同年りて文務卿に千

ヒンソン氏に代

アール氏が將軍れたるを以て都

○英國印度間の洲に於て一大問題を取設するの家の義意を出て終りたるよりと海峡を起こして海峡と起こして阿非

○ロプラルタル

りてアルヒヤ

の線路と總新